

会総常回る案議支県手岩会士災劫本日

日本防災士会岩手県支部

第5回通常総会議案書・資料

会開	1
懇親会	2
報告書	3
決議案	4
出題図書・資料	5
1 資料 (1)	6
2 資料 (2)	7
3 資料 (3)	8
懇親会	9
会開	10

会開懇親会支県手岩会士災劫本日

会開	1
懇親会	2
出題図書	3
1 資料 (1)	4
2 資料 (2)	5
3 資料 (3)	6
懇親会	7
会開	8

日時：平成25年6月30日（日） 13：00から

場所：サンセール盛岡

日本防災士会岩手県支部第5回通常総会

- 1 開会
- 2 支部長挨拶
- 3 来賓祝辞
- 4 来賓紹介
- 5 議長・書記選出
 - (1) 議長 1名
 - (2) 書記 2名
- 6 定足数報告
- 7 議事
 - (1) 第1号議案 平成24年度事業報告および決算報告
 - (2) 第2号議案 平成25年度事業計画(案)および平成25年度収支予算(案)について
 - (3) 第3号議案 役員の改選
- 8 役員挨拶
- 9 議長退任
- 10 閉会

日本防災士会岩手県支部特別講演会

- 1 開会
- 2 講師紹介
- 3 特別講演
 - 演題 : 「東日本大震災から学び、伝えるもの」
 - 講師 : 岩手大学 工学部社会環境工学科 教授 堺 茂樹 氏
- 4 閉会

平成25年度日本防災士会岩手県支部事業報告

月日	事業内容	会場等	出席者等
7月 1日	第1回支部役員会	盛岡市アイーナ	境支部長他
12月 20日	平成24年度東日本支部長会議	東京都	齊藤副支部長
2月 16日	第2回支部役員会	盛岡市アイーナ	齊藤副支部長他
3月 10日	北三県合同協議会 防災シンポジウム	青森市	齊藤副支部長他2名
3月 23日	第3回支部役員会	盛岡市アイーナ	齊藤副支部長他
5月 18日	第4回支部役員会	盛岡市アイーナ	齊藤副支部長他
6月 8日	第5回支部役員会	盛岡市アイーナ	山崎事務局長他
6月 30日	第5回通常総会	盛岡市サンセール盛岡	

平成24年度収支報告

収入の部

平成24年4月1日から25年3月31日まで

単位:円

項目	予算額(A)	決算額(B)	差異(A-B)	備考
繰越金	602,563	602,563	0	
年会費	470,000	384,000	86,000	2,000円 × 192人 = 384,000円
総会懇親会会費	300,000	177,000	123,000	
活動協力金	0	100,000	△ 100,000	日本防災士会
防災キャンプ参加料	87,000	87,000	0	
利息	100	135	△ 35	
収入合計	1,459,663	1,350,698	108,965	

支出の部

単位:円

項目	予算額	決算額	差異	備考
総会費	485,000	399,421	85,579	
会場使用料	100,000	80,850	19,150	サンセール盛岡
表題作成料	50,000	46,830	3,170	
懇親会代	300,000	236,611	63,389	
来賓者謝礼	25,000	30,000	△ 5,000	
印刷資料代	10,000	5,130	4,870	ラベル代
会報作成費	30,000	0	30,000	
通信費	70,000	24,080	45,920	
岩手県支部会報	30,000	0	30,000	
通信費	40,000	24,080	15,920	葉書代、切手代
学習会・講演会費	130,000	226,748	△ 96,748	防災キャンプ代、講師謝礼代
消耗品費	20,000	3,870	16,130	事務用品等
備品費	10,000	0	10,000	
予備費	274,663	0	274,663	
事務局運営費	330,000	387,505	△ 57,505	
事務局手当	20,000	20,000	0	
旅費交通費	300,000	366,980	△ 66,980	北日本連絡協議会出席、役員会開催分
支払手数料	10,000	525	9,475	送金手数料等
会議費	10,000	17,475	△ 7,475	役員会開催会場使用料
事業費	100,000	22,000	78,000	青森防災シンポジウム補助金
次期繰越額	0	269,599	△ 269,599	
合計	1,459,663	1,350,698	108,965	

(案) 平 昭 昭 平 事 業 情 画 (案)

平成 24 年度監査報告

日本防災士会岩手県支部

支部長代行 齊藤 昭平 様

監事

徳田 和男 (印)

監事

猪俣 貞史 (印)

平成 24 年度における日本防災士会岩手県支部の収支において、
関係書類及び貯金通帳に基づいて監査した結果、適正に処理・執行
されていたことを認め、ここに報告します。

監査年月日 平成 25 年 6 月 8 日

平成25年度事業計画(案)

これまでの震災対策に多くの課題を残した東日本大震災から2年が経過し、これらの検証や防災・減災対策における各種計画等の見直しが進められています。また、県内自治体においても防災士養成研修講座が開催されるなど、これらの実効性を高めるための人材育成も行われ、我々の仲間が増えつつあります。

いま、我々は日本防災士会の活動理念である「地域防災力の向上に努め、防災協働社会の実現に寄与すること」を体現する活動を進め、これからの防災・減災社会が求める「新しい公共」の担い手として相応しい存在になることが求められています。

これらのことから、今年度においては、以下に掲げるなかでも特に会員数の拡大、相互の親睦とスキルの向上を図るとともに、事業実施体制の強化を重点に活動してまいります。

1 会員同士のネットワークの管理・補強に努めます。

(1) メーリングリストなどを活用した、情報・意見交換の場を提供します。

- ① 個人情報の適正な管理に配慮しつつ、電子メールやツイッター等を活用した安価な情報交換の場を提供します。併せて、災害時の会員の安否確認や活動体制の把握が円滑に行えるような運用方法を検討します。

(2) 防災サバイバルキャンプなどを開催し、防災士としてのスキルアップに努めるとともに、会員相互の親睦を図ります。

- ① 災害を避けて生きる知恵を学習しつつ、併せてバーベキュー大会を行うなど、会員相互のスキルの向上と親睦が図られるよう、防災サバイバルキャンプなどの企画に努めるとともに、ボウリング大会など無理のない企画による親睦にも努めます。

2 会員の増強と日本防災士会等との連携に努めます。

(1) 日本防災士会並びに北東北支部連絡協議会(NPO 法人青森県防災士会・日本防災士会秋田県支部・同岩手県支部)や、各分室及び県内各地域の防災士会との連携を密にするとともに、日本防災士会会員等への岩手県支部入会を勧めます。

- ① 日本防災士会への支部活動の情報提供や支部未加入会員の情報提供依頼など、岩手県支部会員の増強に努めます。
- ② 県央部・沿岸部・県北部・県南部の各分室内における活動の活発化を図るとともに、県内各地域の防災士会や会員の活動情報を収集し、会報等により周知します。
- ③ 一般への防災士制度の周知や賛助会員の募集に努めます。

(2) 防災士講習の開催に連携した救命講習の企画に努めます。

- ① 県内での防災士研修講座の開催時期に合わせた救命講習の企画に努めます。

3 防災士の知見、技術向上に役立つ行事企画に努めます。

(1) 防災・減災のための知見習得とその習熟を目的とした研修及び災害対応技能研修、日本防災士会との連携による各種の行事開催に努めます。

- ① 防災サバイバルキャンプのほか、「自然災害を学ぶ」、「気象を学ぶ」、「防災に関する生活の知恵を学ぶ」などをテーマとした学習会、見学会、講演会、シンポジウムなどの開催に努めます。
- ② 大学や高等学校などの教育機関や自治体・自主防災組織等との学習会等の共同開催に努めます。

(2) 防災士のスキルアップを図るほか、地域での防災士活動を支援するため、資料等の制作及び企画に努めます。

- ① 会員の自主的な調査研究等の発表機会の企画など、その支援に努めます。
- ② 防災リーダー養成講座、ボランティア・コーディネーター養成講座並びにアマチュア無線技士養成課程講習会など、防災士のスキルアップに関する事業への参加の支援に努めます。
- ③ 会員が各地域で行う防災講座等の活動支援のため、それらに活用できる資料の制作及び企画に努めます。

4 日本防災士会岩手県支部の活動の周知と活性化に努めます。

(1) 事務局体制を強化するとともに、定期的な会報の発行に努めます。

- ① 会員内の人材活用を図り事務局体制を強化するとともに、支部や会員の活動内容などの周知のため、年3回程度の会報の発行に努めます。

(2) 地域防災力の強化に貢献するため、地域の防災訓練への参加や自主防災会の設立を支援するなど、自治体や自主防災会等との連携を推進します。また、他の支部との相互応援協定や防災関係機関との応援協定等の締結に努めます。

- ① 県や市町村、あるいは自主防災会などが主催する防災訓練に積極的に参加します。
- ② 自主防災会の設立を支援します。
- ③ 他の支部との災害時相互応援協定や、防災関係機関との災害時応援協定などの締結に努めます。

(3) 会員の災害ボランティア活動を支援するとともに、会員のスキルを活用した災害救援チームの結成を検討します。

- ① 会員が被災地活動を行う場合の活動状況の把握など、その支援に努めます。
- ② 会員のスキルを活用した災害救援チームの結成を検討します。

(4) 大規模災害が発生した場合の災害救援本部の設置、日本赤十字社や社会福祉協議会等の災害ボランティア活動との連携を検討します。

- ① 災害救援本部を設置した災害救助救援活動を行えるよう、災害救援マニュアル等の策定に努めます。
- ② 日本赤十字社や社会福祉協議会、その他の災害ボランティア団体等との連携を検討します。

平成25年度収支予算(案)

収入の部

平成25年4月1日から26年3月31日まで

単位:円

項 目	24年度予算(A)	25年度予算(案)(B)	差異(A-B)	備 考
繰越金	602,563	269,599	332,964	
年会費	470,000	450,000	20,000	2,000円×225人=450,000円
総会懇親会会費	300,000	200,000	100,000	
活動協力金	0	100,000	△ 100,000	日本防災士会
防災キャンプ参加料	87,000	0	87,000	
利息	100	100	0	
収入合計	1,459,663	1,019,699	439,964	

支出の部

単位:円

項 目	24年度予算	25年度予算(案)	差異	備 考
総会費	485,000	400,000	85,000	
会場使用料	100,000	80,000	20,000	
表題作成料	50,000	45,000	5,000	
懇親会代	300,000	240,000	60,000	
来賓者謝礼	25,000	25,000	0	
印刷資料代	10,000	10,000	0	
会報作成費	30,000	20,000	10,000	インク、コピー用紙、印刷代
通信費	70,000	30,000	40,000	
岩手県支部会報	30,000	10,000	20,000	封筒、郵送料
通信費	40,000	20,000	20,000	葉書代、切手代
学習会・講演会費	130,000	50,000	80,000	
消耗品費	20,000	10,000	10,000	事務用品等
備品費	10,000	10,000	0	
事業費	100,000	50,000	50,000	
事務局運営費	330,000	380,000	△ 50,000	
事務局手当	20,000	20,000	0	
旅費交通費	300,000	350,000	△ 50,000	
支払手数料	10,000	10,000	0	送金手数料等
会議費	10,000	10,000	0	役員会開催会場使用料
予備費	274,663	59,699	214,964	
合 計	1,459,663	1,019,699	439,964	

第3号議案

役員の改選(案)

区分	氏名	役職	所属	連絡先	備考
委嘱	齊藤 徳美	顧問	放送大学岩手学習センター所長	019-653-7414(勤)	
委嘱	五日市 王	顧問	岩手県議会議員		
理事	加藤 隆一	支部長	曾慶郵便局長	0191-75-3224	
理事	齊藤 昭平	副支部長	会社役員	0197-66-5125	
理事	長鈴 秀夫	副支部長	宮古市役所前郵便局長	0193-76-2077	
理事	藤原 正	副支部長	花巻四日町郵便局長	0198-28-2425	
理事	山崎 正幸	事務局長	宮古市役所	0193-87-3001	
理事	佐々木 昌史	総務担当	種市郵便局長	0194-65-2166	
理事	高橋 宏幸	企画担当	北上本通郵便局長	197-64-1160	
理事	前川 一彦	事業担当	川井郵便局長	0193-76-2150	
理事	友田 浩明	県央分室長	盛岡八幡郵便局長	019-622-0223	
理事	武藤 元	沿岸分室長	鍬ヶ崎郵便局長	0193-62-4092	
理事	菅野 幹夫	県北分室長	小鳥谷郵便局長	0195-23-7657	
理事	高橋 隆	県南分室長	農業	0191-82-2417	
理事	大和田 実	会計	綾里郵便局長	0192-42-3060	
理事	主濱 政宏	会計監査	盛岡北厨川郵便局長	019-687-4485	
理事	三田 初美	会計監査	前沢郵便局長	0197-56-3310	
理事	猪岡 須夫	事務局	長島郵便局長	0191-46-2793	
理事	中島 勝也	事務局	宮古市役所	0193-87-2419	